

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和04年12月21日

計画の名称	富士吉田市「富士の水資源浄化計画」その2														
計画の期間	令和02年度 ~ 令和03年度（2年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	富士吉田市														
計画の目標	富士吉田市ストックマネジメント計画を策定し、下水道の整備を行ない、富士山の水資源の安全・安心を実現し、富士の麓の快適な暮らしを創造する。														
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		9	A	9	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R2末	R3末
1	富士吉田市のストックマネジメント計画を策定し長期的な施設の状況を予測しながら、下水道施設を計画的かつ効率的に管理する。			
	富士吉田市ストックマネジメント計画策定率	0%	50%	100%
	計画策定進捗率 / 完成			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	富士吉田 市	直接	富士吉田市	管渠（ 汚水）	改築	施設の管理計画の策定業 務	施設の計画的かつ効率的な管 理計画策定	富士吉田市	■	■				9		-
											小計						9		
											合計						9		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
庁内関係課と外部識者より評価員を選定し、事後評価を実施。	事業終了年度の翌年度（令和4年度）
	公表の方法
	ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道施設の持続的な機能確保及びライフコストの低減を図ることを目的に、計画的な点検・調査・改築等の計画を策定することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
今後、策定した下水道ストックマネジメント計画を基に、ライフコストの低減を図り計画的な点検・調査・改築を行っていく。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	策定率		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	